

地域少子化対策強化事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 三重県

市 町 村 名	伊賀市
事 業 名	伊賀市少子化対策計画事業
事業の趣旨・目的	当計画事業の実施により少子化対策の強化のための結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない」支援の達成を目的とする。
実 施 期 間	交付決定後 ～ 平成 2 7 年 3 月 3 1 日
所 要 見 込 額	323,000 円
地域の実情と課題	当市においてはここ数年来合計特殊出生率が1.5を下回る状況下であり、人口も2005年100,623人 2010年97,207人と5年間で3.5%超の減少率となり少子化は地域の喫緊の課題となっており結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行っていく必要がある。
事 業 内 容	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築 少子化対策県民運動等推進事業（県事業） 結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、多様な主体の参画を得ながら少子化対策に関する県民運動を展開</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等 みえの出逢い支援事業（県事業） 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」の実現に向け、結婚に向けた情報提供等 に取り組む。</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供 妊娠出産前サポート事業（県事業） 妊娠・出産に関する相談体制づくりや医学的な知識に関する普及啓発を図る。</p> <p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備</p> <p>0 歳児サロン事業（新規） 【実情と課題】 子どもが1歳までの間は、母親の育児不安も大きい。また、ケースによっては外出の機会も減り、他との交流も減り閉じこもりがちになる。 その間に、同じ月齢の親子と交流や相談できる場を提供することで不安を軽減し心身のリフレッシュできることで、仲間作りを促進するとともに虐待予防にもつなげる。</p> <p>【事業内容】 こんにちは赤ちゃん訪問時に全ケースにサロンのチラシを配布し、事業の紹介をする。（月40人程度に紹介）平成26年度は毎月定例で実施し、助産師による母乳の相談や育児の話、身体計測とともに交流会を行う。（月20組程度の参加） また、離乳食教室や乳幼児相談、子育て支援センターなども紹介し親子を他の事業にもつなげる。サロンは定例的に実施し、毎月その場に行けば交流ができるという場にして、育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備を行うためのネットワーク化のため親子の居場所づくりを支援する。 この教室は妊婦にも紹介し母の経験談を紹介することや出産前からの仲間づくりの支援など妊娠から出産子育てまで途切れなく支援を目指した事業である。</p>
事業の効果	最も不安の多い時期に親子の居場所を提供することで、母親の孤立化と不安の軽減につながり、育児に前向きになれる子育てしやすい環境づくりにつながる。
都道府県との連携方法	1、2、3の部分は県事業で補完し市独自事業と合わせ結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行います。